

自治会活動 参加レポート

No.14 芝中住宅自治会

芝中国地管理組合

「芝中フェスティバル」

(平成 27 年 11 月 22 日実施)



今回は、市内の大規模マンション群の代表格である芝中住宅団地で行われた「芝中フェスティバル」に伺いました。

昭和 45 年から入居が始まったマンション群で、23 棟からなるイ号棟（芝中住宅自治会）と 7 棟からなるロ号棟（芝中国地管理組合）で構成されています。最近では外国人の方も多数居住しているとのことで、ごみの出し方や自治会の加入に関する中国語版のチラシを作成し、地域に馴染んでもらおうと取り組まれています。

また、災害時用備蓄品の整備にも力をいれており、当日は今年購入した発電機やライトのお披露目もされていました。防災対策にも余念がありません。



毎年、住民に大好評だというおもちの販売に控えようと、9 時ごろから、年末の風



物詩“もちつき”が始まりました。ふっくらとせいろで蒸されたもち米や赤飯の匂いに誘われ、おもちの販売時刻 10 時 30 分の 30 分前には早くも行列ができていました。

並んでいた方々からは「つきたてのおもちが食べたくて」「ぺったんぺったん、

もちつきの音に誘われ来ちゃった」との期待膨らむ声が、あちらこちらから聞かれました。

つきたてのおもちは、女性陣の手により、手際よくあんこときなこに包まれ、おいしく仕上げられていきます。毎年恒例の行事ということもあり、皆さんの連携の良さには目を見張るものが。ほどなく、楽しみに並ばれていた皆さんのもとに温かいつきたておもちが届けられました。



もちつきも終盤になると、少々お疲れの男性陣に変わり、多くの子ども“つき手”が登場。子ども用のかわいい杵も用意されており、大人の手ほどきを受け、上手な杵さばきを披露していました。10年後、20年後には大人用の杵も軽々と、もちつきの中心的存在になっているかもしれませんね。

防災やお祭りなど多彩な地域コミュニティ活動に取り組まれ、自治会活動の重要性を熱心にアピールされている皆さん姿に、地域の絆の強さを感じました。もちつきの

楽しさを知った子どもたちの手によって、きっと地域の絆も継承されることと思います。晩秋の肌寒さも吹き飛ばすほど、地域の皆さんの温かさが伝わるひと時でした。ありがとうございました。



芝中住宅自治会
千葉和彦 会長



芝中団地管理組合
綿貫信雄 理事長

自治会加入を希望される場合には、ご近所の自治会役員、会員の方にお尋ねいただくか、市役所市民生活課市民協働係までお問合せください。

電話 042-563-2111（内線1711）

ファックス 042-563-5931

※平成29年4月より課名が「地域振興課」へ変更となりました。